

2019 SUPER GT PIAA サポートチーム

日本最大のツーリングカーレース「SUPER GT」で名門チームをサポート！
新体制の「Modulo Nakajima Racing」と最高峰のGT500クラスに挑む



「GAINER」が2台のGT-R、「apr」が2台のプリウスPHVを投入！
車種バリエーションの多彩な激戦区、GT300クラスでもPIAAユーザーが活躍





■概要/Outline

国内最高峰のフォーミュラカーレース、スーパーフォーミュラ（SUPER FORMULA）で活躍するPIAAは、国内最高峰のツーリングカーレース、スーパーGT（SUPER GT）においても多くのチームをサポートしている。2019年も新体制となった「Modulo Nakajima Racing」をサポートしており、最新仕様のHONDA MSX-GTで最高峰クラスのGT500クラスに参戦中だ。

一方、車種バリエーションの多彩なGT300クラスでも2台のGT-Rを投入する「GAINER」がPIAA製のLEDヘッドライト用バルブを採用するほか、2台のプリウスPHVを投入する「apr」もPIAA製のLEDヘッドライト用ランプ、LEDウインカーを採用するなど長年に渡って上位争いをしてきた名門チームをバックアップ。まさにPIAAはGTレースにおいてもオフィシャル・サプライヤーとして数多くのチームをサポート、PIAAユーザーのトップ争い、そしてタイトル争いを支えて参ります。

■2019年のスーパーGT

1994年から2004年にかけて争われていた全日本GT選手権（JGTC）の後を受け継ぎ、日本発の国際シリーズとして2005年にスタートしたスーパーGTは、ツーリングカーレースとしては国内最大級の人気を誇る。

同レースのフォーマットは1台のマシンを複数のドライバーが交代しながら、250km～500マイルの距離でポジションを争うセミ耐久のスタイルで、GT500クラスとGT300クラスの混走で開催。最高峰のGT500クラスにはレクサス、ホンダ、ニッサンの3メーカーが参入しており、レクサスがLC500、ホンダがNSX-GT、ニッサンがGT-R NISMO GT500と、それぞれ2000ccのターボエンジンを搭載した専用モデルを投入。タイヤメーカーもブリヂストン、ヨコハマ、ダンロップ、ミシュランの4メーカーが参入しており、マシンを含めて激しい開発競争が展開されていることから、スーパーGTのGT500クラスは世界最速のGTカーと謳われている。



一方、GT300クラスはスーパーGTの独自規定である“JAF-GT300”、GTAが開発したカーボンシャーシに4500ccのV8エンジンを搭載した“JAF-GT300 マザーシャーシ”のほか、世界的に人気の国際規定である“FIA-GT3”と3つの車両規則を採用。これによりスーパーGTだけの専用モデルから、最新のGT3モデルまで様々なマシンがエントリーしていることから、車種バリエーションが多彩で、GT300クラスはまさに世界一の激戦区となっている。

しかも、GT500クラスはハンディウエイトと燃料流量リストラクター、GT300クラスはBoP（バランス・オブ・パフォーマンス）に加えてハンディウエイトを採用するなど、両クラスともにマシンの性能格差を埋めるべく、独自の性能調整が実施されていることもスーパーGTのポイントと言える。それゆえに、同レースでは常にスタートからチェッカーまで激しいバトルが展開されているが、様々なモータースポーツシーンに参入するPIAAは前身の全日本GT選手権からスーパーGTでも複数チームをサポート。2019年もオフィシャル・サプライヤーとして複数のチームをサポートしており、PIAAユーザーたちが各クラスで注目を集めている。

まず、最高峰のGT500クラスで注目すべき存在が「Modulo Nakajima Racing」だと言えるだろう。同チームの監督は日本人初のF1レギュラードライバーとなった中嶋悟氏で、スーパーGTにはJGTCとして開催されていた1998年よりホンダ勢の一角として参戦。2005年からはダンロップタイヤを武器にトップ争いを展開しており、近年では2017年に最後の1000kmレースとして開催された第6戦の鈴鹿1000kmレースを制したことは記憶に新しい。



#64 中嶋 悟 総監督

まさに Modulo Nakajima Racing はスーパーGTにおいても名門と呼べる存在だが、2019年は体制を一新。ドライバーラインナップを元F1ドライバーのナレン・カーティケイアン選手、昨年までヨーロッパF2で活躍していた牧野任祐選手に変更するなど、今季より本格的にスーパーGTへの参戦を開始するルーキーコンビに変更している。



#64 牧野任祐選手



#64 ナレン・カーティケアン選手

モデューロのカラーリングに彩られたマシン「Modulo Epson NSX-GT」もホンダ NSX-GT の 2019 年仕様車に変更するなどハード面もアップデート。これまでの前半戦は新体制ゆえに、未だ熟成不足が否めず目立った成績を残せていないが、豊富な実績を持つだけにシーズン後半戦は Modulo Nakajima Racing がトップ争いを左右するに違いない。

一方、GT300 クラスで注目したいのが、NISMO のパートナーチームとして 2 台のニッサン GT-R NISMO GT3 を投入する「GAINER」にほかならない。同チームは GT300 クラスで常にタイトル争いを展開してきた名門で、2015 年にはチーム部門でチャンピオンに輝くなど豊富な実績を持っている。

2019 年も GAINER の 2 台は充実した体制で、ヨコハマタイヤを装着する 10 号車「GAINER TANAX triple a GT-R」にはベテランの星野一樹選手、若手ドライバーの石川京侍選手を起用。ダンロップタイヤを装着する 11 号車「GAINER TANAX GT-R」には昨年が続いて平中克幸選手、安田裕信選手を起用し豪華なメンバーが顔を揃える。



#10 号車



#11 号車

マシンは PIAA 製の LED ヘッドライト用バルブを標準装備するニッサンの FIA-GT3 モデル、GT-R NISMO GT3 で、第 2 戦の富士で 11 号車 平中、安田組の GAINER TANAX GT-R が今季初優勝を獲得。第 4 戦 チャンインターナショナルサーキット (タイ) では 10 号車 星野、石川組の GAINER TANAX triple a GT-R も今季初優勝を飾り、ドライバー、マシンともに充実した体制となっているだけに、GT300 クラスでは GAINER の 2 台がタイトル争いを左右することになるだろう。



#10 星野・石川組



#11 平中・安田組

また GT300 クラスを語る時に欠かせない存在となるのが、2 台のプリウス PHV を投入する「apr」にほかならない。同チームは 2012 年より JAF-GT 規定のオリジナルマシン、トヨタ・プリウスを投入してお

り、2015年および2016年にはチーム部門で2位を獲得。惜しくもタイトル獲得には一歩及ばなかったが、常にタイトル争いを左右する名門チームと言える。

昨年まで同チームの参戦マシンとなっていた「トヨタ・プリウス apr GT」はミッドシップのマシンだったが、2019年よりエンジン搭載位置の変更が禁止（市販車と同じ位置とする）されたことから、レクサス RC F GT3と同型の5400cc V8エンジンをフロントに置く新型のFRマシン、トヨタ GR スポーツ・プリウス PHVにスイッチ。仕様の異なる2台の「トヨタ GR スポーツ・プリウス PHV apr GT」を投入しており、両マシンともにドライバーラインナップも豪華な顔ぶれだ。



#30号車 Toyota GR スポーツ・プリウス PHV apr GT

まず、ハイブリッド非搭載のマシンにヨコハマタイヤを装着した30号車には抜群のスピードを見せる永井宏明選手と経験豊富な織戸学選手を起用。一方、ハイブリッド搭載モデルにブリヂストンタイヤを装着した31号車はエースの嵯峨宏紀選手に2013年のGT300クラス王者、中山友貴選手を起用するなど充実した体制となっている。



#31 Toyota GR スポーツ・プリウス PHV apr GT

残念ながら、新型モデルゆえに熟成不足は否めず、シーズン序盤戦は苦戦を強いられてきたが、技術力の高いチームだけに後半戦ではPIAA製のLEDランプとLEDウインカーを装着した2台のプリウスPHVが上位争いを左右するに違いない。

このようにスーパーGTではGT500クラス、GT300クラスともにPIAAのサポートチームが注目を集めており、各ラウンドでトップ争いを左右しているのである。

■ショートインタビュー

Modulo Nakajima Racing / 総監督

中嶋 悟 総監督

「今年はクルマのカラーリングも変わったし、ドライバーに関して新しいメンバーになるなど体制が大きく変わりました。ナレイン（カーティケイアン）はスーパーGTが初めてですが、実力のあるドライバーなのですぐに対応できるでしょう。牧野もスーパーGTでの経験がほとんどありませんが、彼はスピードのあるドライバーなので心配はしていません。どのラウンドでもチャンスはあると思っているので、常にベストリザルトを求めて戦いたいですね」（※第1戦 岡山でのインタビュー）



■PHOTO GALLERY

